

開講科目名 Course	憲法研究（Ａ）／Constitutional Law（Ａ）
時間割コード Course Code	13270
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程／
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度／Academic Year 前期
曜限 Day, Period	他 5
開講区分 semester offered	前期／.
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2,3,4
主担当教員 Main Instructor	水島 玲央
科目区分 Course Group	公法関係科目群
教室 Classroom	オンライン授業
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	水島 玲央（法学部）
授業の目標	【授業の目標】 ・憲法が権力者を制限して国民に権利を保障するためのものであるということをまず理解する。 ・憲法が保障する権利をしっかりと理解し、自分の身を自分で守れるようにする。
授業の概要	【授業の概要】 近年、憲法の改正について議論されている。「憲法」といわれてもあまり身近に感じない方々も大勢いるかもしれない。しかしながら、私たちが日頃あたりまえのように享受している「自由」や「人権」といったものは、現在の日本国憲法によって保障されているからであり、欧米先進国や日本以外の国々のなかには、こうした「自由」や「人権」といったものが十分に保障されていない国々もまだ多くみられる。この講義を通じて、憲法が私たちの日常生活においてどれだけ重要なものであるかを理解していただきたい。
評価方法	【評価方法】 授業の終わりに、小テスト（小レポート）もしくはディスカッションを計画している。 受講態度（課題を含む）（５０％）、最終レポート（５０％）
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	3分の2以上、出席しない場合は失格とする。遅刻は出席にカウントしない。
授業計画	【授業計画】 以下のとおり計画しているが、授業の進度が学生の興味によって変更もありうる。 <ol style="list-style-type: none"> 1．ガイダンス 2．憲法とは何か 3．日本憲法史 4．日本国憲法の基本原理 5．象徴天皇制 6．平和主義 7．基本的人権の原理 8．人権の享有主体 9．基本的人権の限界 10．包括的基本権 11．法の下での平等 12．精神的自由権（１）内心の自由 13．精神的自由権（２）表現の自由 14．精神的自由権（３）表現の自由の限界 15．前期のまとめ

テキスト	テキスト 芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法 第七版』（岩波書店・2019）
参考書	参考書 判例集、小型の六法など
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含む
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	KINTONE上でディスカッションを予定している。
実務経験のある担当教員による授業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	メールで対応する。
フィードバックの方法	授業の課題のフィードバックは、翌週に行いたい。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	日々、ニュースをみて世の中の動きを把握しておくこと。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	